

名和眼科 近視進行予防のリジュセアミニについての御案内

令和7年4月21日から、リジュセアミニ（0.025%アトロピン）という点眼薬による近視進行を抑える治療を開始します。点眼薬は国内大手企業の参天製薬の製品です。国内の臨床治験の結果では、5歳から15歳の-6D以下の近視患者について、1日1回の点眼で2年間での近視進行を40%抑制すると証明されました（点眼しない群が平均-1.0D 近視が進行したのに対し、点眼群では平均-0.6Dの近視進行にとどまった）。

治療の対象となる方

6歳～18歳の近視の方で（度数に制限なし）3か月に1回定期的な通院が可能な方。治療が最も効果的な時期は小学生ですので、早めの治療開始をお勧めいたします。

治療の注意点

ミニ点眼薬1本は両眼用で1回の使いきりです。1箱に30本入っています。点眼は必ず1日1回、寝る前だけに行ってください。点眼すると散瞳してまぶしくなり少しぼやけます。夜中に起きたらまぶしさやぼやけを感じますが、たいてい朝には問題ない程度になります。寝る前の点眼を忘れても次の日の朝や昼に点眼しないようにしてください。寝る前に点眼しても朝しばらくまぶしさやぼやけを感じる場合があります（10%くらい）。まれに点眼剤によるアレルギーが生じることがあります。

3ヶ月に1回は必ず検査と診察が必要です。治療の途中で中断されるのは自由ですが、返品、返金はできません。

健康保険適用外（自費診療）となるため花粉症や結膜炎やものもらい等の保険診療と同日には診察、検査、処方が出来ません。保険診療を希望される方は別日に御来院ください。この治療は中断するとリバウンドがあるため、18～20歳くらいまでは治療を継続することをお勧めいたします。

この治療は視力を回復するものではなく、近視進行のスピードを遅らせるのが目的です。効果には個人差があり、必ずしも結果を保証するものではありません。

治療費用（R7.4月時点）

この治療は保険適応外の自費診療です。健康保険や医療費助成制度は適応されません。

初診時に眼の検査、診察のみで点眼処方がない場合、保険診療となります。後日に治療を希望して来院された場合、その日から自費診療となります。直近に検査と診察を受けている場合はその日は点眼薬の説明だけさせて頂き、点眼の初回1箱お渡しを行います。

点眼薬代 4000 円（以下すべて税込）

初診時からこの治療を希望される場合 初診時から自費診療となります。検査、診察費用 3000 円、点眼薬代 1 箱 4000 円 計 7000 円

1 か月検査 検査、診察費用 1000 円、点眼薬代 12000 円（3 箱）、計 13000 円

3 か月毎検査 検査、診察費用 1000 円、点眼薬代 12000 円（3 箱）、計 13000 円

点眼処方を行う定期検診時に眼鏡やコンタクト処方をする場合は検査代 3000 円となります。